

せいりばんごう 整理番号	1-3	そうだん 相談レベル	3
ぶんるい 分類	ちいき じょうほう 地域情報		
こうもく 項目	かながわけん 神奈川県のプロフィール		
ないよう 内容	れきし 歴史		

【先史・古代】

かながわけんいき かいづか しゅうらくあと こふん おうけつぼ
神奈川県には貝塚、集落址、古墳、横穴墓など、わたしたちの遠い祖先の遺跡がおよそ7,500カ所も
あり、全国的に見ても遺跡の多いところとして知られています。このように多くの遺跡があるのは、この地
いき おんだん きこう どうきょうわん さがみわん ふた わん めん せいほう はこね たんざわ
域が温暖な気候と、東京湾と相模湾という二つの湾に面し、西方に箱根や丹沢をはじめとする山々を背
おい どうしょくぶつ はんしょく てき きゅうりょうちたい へいや めぐ かくだい つう そぼく せいかつ いとな
負い、動植物の繁殖に適した丘陵地帯と平野に恵まれたため、各時代を通じて素朴な生活を営んでい
ひとびと たいへん す ぼしょ かんが
た人々にとって、大変に住みやすい場所であったからだと考えられます。

【中世】

かながわ ちいき へいあんじだい なか ざいち ゆうりよくしゃ なか りょうしゅかいきゅう せいちょう
神奈川の地域では平安時代の中ごろから、在地の有力者の中から領主階級が成長しました。かれらは
しやうえん めいもくてき ちゅうおう きぞく だいじしゃ きしん しょうじ じっけん にぎ しい ぶしか
荘園を名目的に中央の貴族や大寺社に寄進し、みずからは荘司として実権を握り、次第に武士化して
いきました。源頼朝は、このような東国武士団の支持を得て鎌倉に幕府を開き、武家政権の基礎をつくり
ました。

【近世】

きんせい かながわけんいき むさしのくにたちばなぐん つづきぐん くらきぐん ぐん さがみのくに かまくらぐん みうらぐん つくいぐん
近世の神奈川県は、武蔵国橋樹郡・都筑郡・久良岐郡の3郡と、相模国鎌倉郡・三浦郡・津久井郡・
こうざぐん あいこうぐん おおすみぐん どうあやぐん あしがらかみぐん あしがらしもぐん ぐん わ だいまよりょう ぼくまつ
高座郡・愛甲郡・大住郡・洵綾郡・足柄上郡・足柄下郡の9郡に分かれていました。大名領は、幕末に
まん ぜんごく おだわらはん まん ぜんごく おぎのやまなかはん まん せんごく かなざわはん むつうらはん かず
は、11万3千石の小田原藩、1万3千石の荻野山中藩、1万2千石の金沢藩(六浦藩)を数えるにすぎず、
ほか ぼくふちやかつりょう はたもと ちぎょうち じしゃ ごしゅいんち
その他は幕府直轄領や旗本の知行地、寺社の御朱印地でした。

【近代】

せいぎ きゅうげき こうぎょうか けいけん せいおう せんしんしよく げんりやうかくとく しょうひんばいきゃく しじょう もと
18世紀に急激な工業化を経験した西欧の先進諸国は、原料獲得と商品売却のための市場を求め、ヨー
ロッパから出てアジアに向かってやってきました。彼らの乗った船は18世紀末には日本近海にあらわ
れ、交易を求めようになったのです。鎖国体制を守り続けた幕府も軍事的圧力を背景に開国を迫った
こうえき もと さくこたいせい まも つづ ぼくふ ぐんじてきあつりよく はいけい かいこく せま
ペリー率いるアメリカ艦隊に屈し、和親条約を締結しました。開港場の一つとされた横浜は日本と外国を
むす まどぐち せいようぶんめい はや りゅうにゅう ぼしょ まん せんごく ちゅうしん けいざいけん
結ぶ窓口となり、西洋文明がいち早く流入してくる場所となりました。このため横浜を中心とした経済圏が
しい けいせい
次第に形成されていきました。

【現代】

かながわ げんだい かんどうだいしんさい はいきよ ふつこう はじ かながわ ぐんじてき じゅうよう ちいき
神奈川の現代は、関東大震災による廃墟からの復興が始まります。神奈川は軍事的に重要な地域であ
り、昭和10年代はまさしく「軍都神奈川」で、満州事変以降は、戦時体制が徹底化しました。昭和20年に
しやうわ ねんだい ぐんと かながわ まんしゅうじへんいこう せんじたいせい てつていゆ しょうわ ねん
米軍の爆撃が本格化し、市街地が再び廃墟の街に化しました。敗戦後の神奈川は、連合軍の重要
せんりやうちいき みるしゆてきかりかき せんさいふつこう おこな しょうわ ねん こうどけいざいせいちやうじだい むか しゃ
占領地域として民主的改革と戦災復興が行われました。昭和30年からは高度経済成長時代を迎え、社
かいしほん せいび すず はんめん こうがい こうつうせんそう おお しゃかいもんだい う せいかつようしき
会資本の整備が進んだ反面、公害や交通戦争などの大きな社会問題を生みだしましたが、生活様式の
きんだいか すず
近代化が進みました。